



朗V連ニュース

ポシエツト

No.145

発行日 平成30年 7月 5日

発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通5丁3番26号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

平成30年度 第32回 朗V連代表者会開催

5月18日(金)午前10時半から神戸ライトセンター2F多目的室(中山記念会館内)に於いて第32回朗V連代表者会を開催しました。参加は19グループ、委任状3グループ、合計22グループ。ご多忙の中、来賓として公益財団法人中山視覚障害者福祉財団常務理事 湯川洵氏、事務局 長 松前篤志氏のご臨席を賜りました。

初めに池田くみ子代表幹事から、昨年4グループが退会して1グループ入会で22グループになったこと、それにもかかわらず昨年は依頼図書や朗読活動の希望者、他様々な依頼が増えているので、今後も各グループの皆様には益々のご協力をお願いしたいと挨拶がありました。

松前氏からは、次回ワンダフルフェスタの出演者が八代亜紀氏に決定したことや、2020年に新開地に完成予定の新中山記念会館の移転計画について、そしてその新会館の建設事業に湯川氏が専念しやすいように常務理事の役を松前氏にバトンタッチされるということなどをお話いただきました。

湯川氏からも新しい会館について詳しくお話くださり、各ボランティア団体が活動しやすい環境を整えられるよう構想を練っていますと心強いお言葉をいただきました。

議事に入り、議長に西宮市「トビアの会」の屋葺智子様、書記には神戸市「花いかだ」の杉田泰子様を選出して、平成29年度事業報告、決算及び監査報告に続き平成30年度役員が選出されました。その後池田代表からグループの減少に伴いブロック編成の規約の変更の提案があり、代表の皆様により承認されました。さらに新代表幹事の藤田由子より事業計画案、予算案が提案され、全て承認が得られ、皆様のご協力のもとスムーズに議事が進行し無事に終わることができました。

平成30年度は22グループ、幹事も6名でのスタートとなりましたが、より良いボランティア活動を目指していきます。ご協力をお願い申し上げます。



退任幹事 挨拶



池田くみ子(代表幹事) 神戸市 花いかだ

1年目は朗V連30周年記念交流会があり、先輩幹事に教えて頂きながら何とか無事終了。仲間同士の絆と達成感を感じる事が出来ました。2年目は代表としての仕事の中から多数のグループの代表さんと電話でお話し、お願いの件ばかりでしたが、お顔も存じ上げない方とのお話に楽しい経験をさせて頂きました。

今年から三つのブロックになります。私がやり遂げられなかったAブロックの朗V連ミニ交流会が7月に初めて行われます。これを機に各ブロックが盛り上がり、それが朗V連全体の盛り上がりになります様、心より祈っております。

2年間ありがとうございました。そしてこれからも宜しくお願い致します。

茨木万記子（副代表） 西宮市 トビアの会

平成29年度副代表をどうにかこうにか務め終えることが出来ました。

1年目は朗V連30周年記念の年、2年目は中山視覚障害者福祉財団様の20周年とおめでたい節目の年に幹事を仰せつかりました。副代表として、こんな未熟な自分に何が出来るのか？先ずは良く考え、精一杯楽しく活動して参りました。しかしながら、至らぬ事も多々あったと思います。申し訳ございません。皆様に温かくお見守りいただいた事、同期幹事・現幹事の皆さん、KLC加盟5団体の方々との出会いは何にも代え難い心の財産となりました。活動を通して学んだ事、忘れません！有難うございました。

岡田徳子（書記） 加古川市 ほほえみ

終わってみれば短かったこの2年。代表者会を終えて、ほっとすると同時に少し寂しさも感じながら帰路に着きました。まだまだ課題の多い朗V連の現状ですが、最近新たな希望の光も見えてきているように思います。これからは、朗V連のそしてほほえみの一員として、少しでもお役に立てるよう、楽しみながら活動してまいります。

一步踏み出すことで新しい素敵な出会いを実感できました。感謝するとともに、朗V連の今後の発展をお祈りしております。

玉田礼子（ポシエット） たつの市 せせらぎ

あっという間の2年間でした。1年目は、何もわからないまま30周年記念交流会を迎え、夢中で他の幹事さんたちについていきました。2年目は、加盟グループと幹事の人数が減少し、担当したポシエットは年6回から4回の発行に。各号の項目に抜けがないように、また少しでも見やすい紙面になるように努めました。今後は一読者として、今までより丁寧にポシエットを読みたいと思います。

朗V連の幹事を受け、多くの刺激をいただき、素晴らしい出会いに恵まれたことを心から感謝しています。ありがとうございました。

♡♡♡ **平成30年度幹事 6名で頑張ります** ♡♡♡

藤田由子（代表幹事） 神戸市 わっしょいわっしょい

そろそろ幹事がまわって来るからこの際退会しようかと2年前にグループで話し合いました。朗V連の活動もよくわからず、視覚障害の方への活動は対面朗読だけでしたので肩身の狭い思いもありました。でも誰かがやらなくては…の思いだけで頭数のつもりでした。今年度の代表もおなじ気持ちです。無力の私ですが、仲間とともにこの一年をのり越えて行きたいです。

坂口幸子（副代表） 高砂市 むつみ会

何もわからないまま朗V連の幹事を受け、会計として一年務めさせて頂きました。

この一年はパソコンの腕も上がり(?) 素敵の方々との出会いもあり人生の幅が広がったようです。どうぞ皆さんも幹事の依頼があった時はマイナス面ばかり考えないで、人生にプラスになることが待っていると思ってお受け下さい。

今年度は副代表・書記・KLC 担当として脳の使ったことないところを活性化させて頂こうと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

馬居理子（ポシエツト） 洲本市 榎の木グループ

1年前に朗V連の幹事になった時には、何をどうしていいのかもわからず不安でいっぱいでした。そして1年経った今、朗V連の繋がりや視覚障害者の方々へのご奉仕を大切に考えお役に立てるように励んでいらした先輩幹事の皆様を拝見し、同様に出来るのかまたもや不安を感じています。

しかし新しいことは楽しいこと。またボランティアは負担に感じてはボランティアでないというのが持論です。昨年同様いろんな発見や出会いを楽しみながら少しでも皆様のお役に立てるよう頑張っていきますので、よろしくお願ひします。

新川曜子（発送） 篠山市 松ぼっくり

役員選出時に時間が比較的自由に有ると云う事だけで、私に白羽の矢が・・・。

平常、細々と朗読ボランティア活動をしているグループですが、この度朗V連という大きな組織の中での勉強の機会を得、なんの能力も持たない私ですがお邪魔に成らぬ様、1つでも私に出来る事有らばとの思いです。

皆様どうぞ宜敷くお願ひ致します。

芦田清美（ポシエツト） 丹波市 りんどう

今年度、新たに朗V連の幹事をさせていただきます。丹波の山奥でひっそりと朗読ボランティアをしておりますので、右も左もわかりませんが精一杯がんばって努めたいと思っております。会員の皆様ポシエツトの紙面作りにご協力をお願い致します。

堀田淑子（会計） 神戸市 虹

このたび会計を担当させていただくことになりました。パソコンもまともに使いこなせない私ではご迷惑をかけることになるのではとの心配はありますが、きっと他のメンバーの強力なサポートで何とかなると楽観している次第です。貴重な経験になると思ひますので、いろいろ吸収させていただくつもりでおります。



昼食後の懇談会

昼食も含めて1時間足らずの短い時間でしたが、今後の朗V連の在り方や交流会への希望などを話し合っていました。事前にお送りしていたアンケートで各グループでの意見を取りまとめ、代表者の方はその資料を持ち寄って参加されたので様々なご意見を出していただくことが出来ました。

懇談内容・アンケートから

- ・朗V連内で音訳図書の貸出しをしてはどうか？（著作権の問題が心配）
- ・存続した方がいいと思うが、幹事選出が難しいなら活動を縮小してもいい。
- ・他グループの活動内容の座談会（情報交換）を行ってはどうか？
- ・デイジーのスキルアップ講習をして欲しい。
- ・朗V連の情報がまだまだ行き渡っていないのではないか。
- ・ポシエットは刺激にもなるし、出来ることで存続を願う。
- ・維持は大変だと思うが、視覚障害者の方々に寄り添っていくことは必要であると思う。
- ・幹事の作業の見直し。
- ・活動内容を縮小しつつ解散することなく継続させていきたい。

etc.

※貴重なご意見をありがとうございました。交流会についてもゲストの希望、様々な要望をお聞かせいただきました。皆様のご意見を参考に、今後の活動が出来る範囲で風通しの良い活動になっていけばと思っております。

ボランティア依頼

- ・「神戸新聞日曜版 新五国風土記」音声データ作成
- ・腎友会会報誌「きぼう」平成31年度担当グループ

代表者会で募集しましたところ、各グループとも前向きにご検討いただき、それぞれ担当していただくグループが決まりました。

「神戸新聞日曜版 新五国風土記」…………… 松ぼっくり、トビアの会、神戸草笛、グループ潮騒
ほほえみ、むつみ会、かしの実

平成31年度 腎友会会報誌「きぼう」…… りんどう
皆様ご協力ありがとうございます。



講演

演題 「神戸アイセンター ～ビジョンパークからの情報発信～」

講師 公益社団法人 NEXT VISION 情報コンシェルジュ
歩行訓練士 視能訓練士 別府 あかね 氏

講師の別府あかね氏は、長年歩行訓練士として目のみえない、見えにくい人達の生活相談やリハビリに携わってこられ、もっと医療と福祉の連携ができればと2年前には、視能訓練士の資格を取られ神戸アイセンターの立ち上げのプロジェクトに参加されて、現在NEXT VISION 情報コンシェルジュとして活動されています。

今回は、神戸アイセンターの全体のお話とビジョンパークの紹介をしていただきました。

神戸アイセンターとは？

2017年12月に神戸ポートアイランドに出来た、眼の病気の基礎研究から治療、リハビリまでを総合的に行う国内初の眼科施設です。場所は、ポートライナー医療センター駅から徒歩2分！研究部門、病院部門、ロービジョンケア社会実験部門の3つの柱で成り立っています。

- 研究部門・・・IPS細胞を使った最先端の研究
- 病院部門・・・確かな一般治療と最先端医療（紹介状なしでも受診できる）
- ロービジョンケア社会実験部門・・・ビジョンパークでの様々な体験や試み

それぞれの部門が互いに連携し合って目で困っているすべての人たちのための受け皿となる。

ビジョンパークの紹介

5つのエリアに分かれていてあえて段差を設けています。

① リーディングエリア

様々な機具が引き出しの中にしまっており、拡大読書機が2台あります。

② リラクゼーションエリア

医療向けのリラックスできる音楽が流れています。（鳥のさえずりや水の流れる音等）

③ キッチンエリア

全盲の職員さんが常駐してお湯を沸かしてコーヒーを入れたりしてくれます。

④ アクティブエリア

壁を登るクライミングボールが光るので見えにくい人でも登りやすくなっています。（世界初）

⑤ シミュレーションエリア

壁で仕切られた小部屋の中にドライビングシミュレーターがあり、視野に障害がある人の視線を計測することが出来ます。また、黒板の文字が見えにくい子供がどうすれば見えやすくなるかシミュレーションできます。

ビジョンパークの目的

- 情報コンシェルジュによる情報発信・情報収集
- 他機関・団体の中継拠点となるハブ機能（橋わたし）

↓
情報交換・情報共有

- 他機関・団体との連携協働による相談・支援業務

↓
視覚障害者の QOV（視覚の質） 向上



視覚障害者に対するイメージの変革

ビジョンパークには500冊の書籍がありテーマごとに並んでいます。思わず誰かに話したくなるような内容が詰まった本がたくさんあります。

将来は、神戸アイセンターを拠点とした朗読ボランティアの活動の場も作りたい。

*ビジョンパークという今までなかった新しい試みの場で少しでも視覚障害者の生活向上のために日々頑張っておられる別府あかね氏の熱い思いが伝わるお話でした。

平成 30 年度朗 V 連代表者会に参加して

会のはじめに池田代表から「朗 V 連加盟グループが 25 から 22 に減りました。」との寂しいお話があり、今後朗 V 連は存続できるのかという一抹の不安で始まった代表者会でした。

すぐ後に中山財団の湯川常務から「ついに新たな中山記念会館の土地を新開地に確保出来ました。」とのお話があり、新しい会館には録音室、対面朗読室、交流会が開催出来るほどのホールを作る予定とのこと。五年前の「十年後の中山記念会館」の講演でお話されていたことが現実になると思うと、喜びと同時に朗 V 連に対して期待されているとの責任を感じずにはいられませんでした。

総会後のブロックごとの懇談会では、現在のグループの活動状況と問題点などを話し合いました。私たち A ブロックでは 7 月にブロックの中間地点になる篠山で、代表者が集まって朗読会&デジ一録音や活動についての話し合いをしようということになりました。皆さんのやる気に満ちた発言をうかがい「まだまだ大丈夫。私たちも頑張ろう！」と思えた代表者会でした。

音訳ボランティアともしび 内藤 美保

6 月 3 日第 12 回神戸ライトセンターまつりが開催されました

神戸ライトセンターまつりに参加して

素晴らしい時間をありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。

第 12 回 KLC まつりの朗読発表に加古川朗読ボランティアほほえみから 朗読 4 名 音響 1 名で参加させて頂きました。作品は 平岩弓枝さんの「ふたりぼっち」です。

当日までに、個人でも、出演メンバー 5 人でも練習を重ねて伺ったのはもちろんですが、やはり本番の緊張感は予想以上でした。まず自分のパートをしっかりと…と、頭の中ではいろいろ考えていましたが、いざ本番になると、すべてまっ白。ところが！聞いてくださっている方々が、主人公のセリフはもちろん、ナレーションの部分にまであたたかい反応を表してくださり、いわゆるノッてノラされて、終えた時には会場全体が「ふたりぼっち」の世界観に包まれているのを感じました。今でも思い出すとあたたかい気持ちになります。この経験がこれからの勉強の支えになることは言うまでもありません。本当にありがとうございました。

ほほえみ 宮本とも子



「中山ワンダフルフェスタ Vol. 21」お知らせ

開催日 平成 30 年 10 月 5 日 (金)
会 場 神戸文化ホール (大ホール)
出演者 八代 亜紀
開 演 15 時 (開場は 14 時、終了予定は 17 時 20 分)



※チケットを希望されるグループは、別紙の申込書に枚数を記入の上、同封の返信用封筒にて **8 月 25 日 (土) 必着**でお申し込み下さい。9 月にチケットを送付します。チケットは各グループの申し込み状況により配分させていただきます。チケットには限りがありますので枚数につきましてはご希望に添えない場合もありますが、ご了承ください。

32回兵庫県朗読ボランティア交流会のおしらせ

日 時： 2018年11月13日（火） 13:00～16:00 （12:30開場）
場 所： 新長田 ピフレホール
内 容： 第1部 会員による朗読発表
（明朗会、草笛、わっしょいわっしょい）

第2部 川邊 暁美氏による講演会

・朗読「蜜柑畑」（山本周五郎）

※予定です。変更の場合があります。

・ワークショップ

「声で握手♪呼吸と声を伸びやかに、

心を伝える朗読」



【川邊 暁美氏プロフィール】

NHK神戸放送局ニュースキャスター、兵庫県広報専門員等を経て、「美しい日本語とその心を次世代に伝える」思いを礎に、2008年「言の葉OFFICEかのん」設立。

「美しい日本語コンサート」「音楽と朗読で綴る言の葉コンサート〈宮沢賢治の世界〉」「語り芸花舞台」「古典万華鏡」への出演や古典芸能との共演、また、話し方・朗読・コミュニケーションの講師としても、講演・セミナーや企業研修、教育機関・カルチャーセンターでの指導を行うなど幅広く活躍。著書に『「声」と「言葉」で心に響くプロの話し方作法』（2013年1月明日香出版社）がある。神戸女学院大学非常勤講師。

会 費： 会 員 1,000円（前売り800円）
非会員 1,200円（前売り1,000円）
リスナー・ガイドヘルパー 500円（前売り400円）

申込み： 同封の別紙参加申込書にグループの参加人数を記入のうえ、8月25日（土）までに返信用封筒にてお申込み下さい。後日、振り込み依頼書をお送りします。入金確認後、入場券を送付いたします。

アイライトフェア2018のお知らせ

日 時： 2018年11月3日（土・祝）
場 所： 神戸市立葺合文化センター 大ホール（神戸市中央区旗塚通4-4-1）
※詳しい内容については、後日お知らせいたします。

貰って頂けませんか？

カセットテープのダビング機

① シリアルNo.10529 モデル CCP-2310F

② シリアルNo.10201 モデル CCP-2410F

① ②を接続すれば、一度に多くのテープをダビング出来ます。

テープ録音をしなくなり使わなくなったのですが、まだまだ使用可能です。

詳細、問い合わせは 朗読ボランティアグループ 花いかだ 杉田 泰子まで。

ありがとうございました

朗読ボランティアグループ「デイジー淡路」様から「PLEXTALK デジタル録音機 DR-1」を譲っていただけると聞き、手を挙げました。ちょうど不足を感じていたところだったので助かりました。大切に使います。ありがとうございました。

高砂市朗読ボランティアグループ むつみ会

★『ポシュット』では各グループの活動などを紹介しています。どうぞ原稿をお寄せ下さい。

その他、耳寄りな情報（譲っていただける機器など）やご意見、ご希望なんでも結構です！

朗V連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら下記担当幹事までお知らせください。

ブロック	地 区	氏 名
A	東部・北部地区	芦 田 清 美 (丹波市 りんどう)
B	神戸・明石・ 淡路地区	馬 居 理 子 (洲本市 樫の木G)
C	播 磨 地 区	坂 口 幸 子 (高砂市 むつみ会)

編集後記：☆日本全国で地震の危険性が高まっている。今一度災害時の備えと確認をしなくては！

何事も備えあれば患いなし…とってはいるのだが。(う)

☆編集なんてやったことない！確実に足をひっぱってます。どうか長い目で見て下さい。

「ビジョンパーク」見に行ってみようかなあ・・・。(あ)

